

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	楽育楽座		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 17日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫されていること。	・週単位または月単位でカリキュラム毎のテーマを職員間で話し合い、子どもたちが飽きがこないよう工夫を施しています。	・今後はさらにお子様一人ひとりの特性や出来ることに合わせたレベルの緩急を支援に盛り込んでいければと思います。
2	児童が通所を楽しみにしてくれていること。	・その時の子どもたちの中で流行っていることややりたいと思っていることなどをイベントとして具現化しています。	・例えば、学校やご自宅ではなかなか出来ない大掛かりなサイエンス(実験)をフィールド療育の一環として行っていきたいと考えています。
3	お子さまに合った支援内容、支援方法が盛り込まれた個別支援計画書が作成されていること。	・アセスメントを元にお子さまの特性やそれに合う支援方法を職員間で共有し話し合い、個別支援計画に反映させています。	・アセスメント方法をもっと多角的に(例えば運動面であれば何が得意で何が不得手かなど)情報収集できるように考えております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現状、保育所や認定こども園、幼稚園等の交流または障害のない子どもと活動する機会が設けられていない。	・近隣の保育園や幼稚園等との交流の機会が一切ない。	・地域交流の一環として、近隣の園との交流会イベントや地域イベントに参加するなど、今後の実現に向けて前向きに考えていきたい。
2	必要に応じて家族支援を行っているが、そのような支援があるという選択肢が広く保護者に伝達できていない。	・利用者の状況やニーズに応じて事業所対応という流れはすでに行っているが、家族支援(ペアレントトレーニング等)の選択肢があるということは全体発信できていない。	・今後はLINEなどの発信ツールを使用し、必要に応じて家族支援(育児相談も含む)を適宜行えるよう体制を整えていきたい。
3	避難訓練は定期的に計画し行っているが、新しくご利用を開始された方の中には、実際に参加されたことがなくそのような事が実施されているということが認知されていない。	・契約時の説明の中に組み込んでご説明しているが、避難訓練という内容がその他諸々の情報に重なってしまい、定期的に実施しているという体制が伝わりづらいのではないかとと思う。	・年間予定や月間予定で避難訓練計画を発信し、事業所としてそのような取り組みも行っていることを幅広く認知して頂きたいと思う。